



RIテーマ ROTARY : MAKING A DIFERENCE

ロータリー：変化をもたらす

クラブテーマ 『 それでこそロータリー！ 』

2017-2018

第 11 回例会

# 会 報 No. 1009 豊橋東ロータリークラブ

事務局：豊橋市花田町石塚 42 豊橋商工会議所内 TEL 0532-56-8566 FAX 0532-39-7520

会長：中嶋秀樹 副会長：伴 和信 幹事：柳瀬秀昭 会報・雑誌委員長：金子和久

平成 29 年 9 月 20 日(水) 19:00~21:00

例会会場：ホテルアークリッシュ豊橋4F ザ・テラスルーム 担当：会員増強・職業分類

ロータリーソング「奉仕の理想」/「四つのテスト」 唱和：安井 洋二 さん

ゲスト 国際ロータリー第 2840 地区ガバナー 田中 久夫 氏 (高崎 RC)  
 国際ロータリー第 2760 地区ガバナー 神野 重行 氏 (名古屋名駅 RC)  
 国際ロータリー第 2760 地区ガバナーエレクト 村井 總一郎 氏 (豊橋 RC)  
 国際ロータリー第 2760 地区東三河分区ガバナー補佐 大須賀 憲太 氏 (豊橋 GR C)  
 米山奨学生 アルタンフヤグ, ヒシグオチル 君

出席報告	会員総数	計算会員	出席免除者数	欠席	出席率	9月6日修正出席率	ビジター
	43名	42名	2名	10名	76.19%	88.10%	42名

## 会長挨拶 中嶋 秀樹 会長

本日は高崎ロータリークラブの会長年度に 1 年で 51 名もの増強を果たされた第 2840 地区ガバナー、田中久夫様にお越しいただき、豊橋全クラブの公開例会とさせていただきます。当地区の神野ガバナーにも同期ガバナーとして非常に懇意にされているということで、公式訪問の前の週にも拘らずお越しいただいています。

会員増強はどのクラブにとりましても喫緊の重要課題であります。この例会が今日御参加いただきました全クラブにとりまして有意義な会になる事を祈念しまして挨拶とさせていただきます。

## 本日のプログラム

会員増強のための HOW TO  
 1 年で 51 名を増強したクラブの実例  
 国際ロータリー第 2840 地区(群馬)  
 ガバナー 田中 久夫 氏(高崎 RC)

会員増強は皆さんに与えられた使命であり、会長、幹事、会員増強委員長の熱意でしかない。まず、何故 RC に入ったのか思い返す。そして今誘おうとしている人のどこの琴線に触れれば YES を引き出せるか考える。また相手に自クラブの特長、他のクラブとの違いを説明してあげる必要があり、そのためには是非「ロータリーの友」を読んで欲しい。自クラブが他からどのようなクラブと思われているか自己分析をする。会長を中心としてクラブの問題点と改善点を本気で話し合い、過去にとらわれず一度リセットする。これまでの長い歴史がこれからをつくると多くの人は考えるが、私はそう思わない。新しいこれからのこれまでの評価を決めてくれると考える。つまり破壊と創造である。歴史や伝統にとらわれない若い人を中心とした真摯の気持ちで取り組んで欲しい。ロータリアンであるあなたは次の質問にどう答えるか。あなたの長男(45歳)があなたの経営する会社(常務)で働いている。その長男を自分と違う RC の会長が入会の依頼に来た。あなたの回答は？多くの人はまだ入会は早いと言って断る。しかし断られても凹まず何度も熱心に入会依頼をして欲しい。親を口説くことも考える。皆さんが親なら即時入会を許可してください。私のクラブでもこのケースで苦勞をし



て来たが最近では子供が入会適齢期(45歳)くらいになると「倅を高崎 RC で育ててくれないか。」と親からの頼みが増えている。30歳、40歳の若者には友人が多くいるから、その年代の人が RC に入会し楽しそうにしていると新会員がさらに増える。新会員が RC はすばらしいとか、おもしろいとか言ってくれて、さらに新会員が増えるにはまず例会が楽しいこと、これが原点です。また他クラブ訪問で良い所、悪い所を見てそれを自クラブに活かすという意味で他 RC でのメイクアップ『KOC(Know other club)運動』を奨励している。他 RC での情報交換で高崎市内の新会員の紹介や高崎市へ転勤される会員情報等が入った好事例があった。また会員増強純増 1 割を会長に言明している。さらにクラブ内で若手に仕事を任せることも大事。例会の工夫で実施して良かったことでは例会の着席場所を抽選とし古参と新会員を混在させた。また点鐘前に握手タイムの時間を設けた。クラブ内で非公式の仲良し団体も増やした。他 RC との夜間交流会も多く行った。会員が持ち歩く三種の神器としてクラブの略歴書、入会申込書、ロータリーの友の「ロータリーとは」のページをカラーコピーし全員に持たせた。毎月開催の会員増強会議では顔の広そうな若手を会議のメンバーとし、多くのメンバーが推薦する人に時間と労力を惜しまず入会を働きかける。そこで会長、幹事、増強委員長の本気度が問われる。常に数値目標を持つこと。私は 64 名で会長を引き受けたが会員 100 名目標とずっと言い続け、会う度にだれかいけないかと声をかけ続けた。その結果 1 年で 51 名増え、今は 130 名。1 年間は覚悟してやって欲しい。組織にとって必要な人は、若者《活気に満ちた人で良く動く》、バカ者《常識に囚われず新鮮で突飛な発想をもつ》、よそ者《新しい人脈を集めてくる》である。これは日経新聞で紹介された話であるが、これは RC にとっても同じく大切だ。会員が増えれば金が入る。金があれば目立った奉仕ができ、公共イメージと認知度の向上につながる。若い人には RC が君の人生にとってとても大事なのだということを語って欲しい。人から推薦され、社会人として認められはじめて入会できる。『人生の目的とは品格の完成である』と新渡戸稲造、そして群馬のクリスチャン内村鑑三が言っている。RC はそのために絶対必要であり、それが我々のスピリットでもある。

写真：小笠原 竜児 さん / 原稿：杉村 建二 さん